

V 静岡県交流

“ふじのくに”のおもてなし

目的

静岡県内の各分野の青年代表が、8月の浙江省交流で得られた相互理解と信頼関係をさらに深め、県内の魅力を中国青年に伝えることにより、両省の人的交流や経済、産業、文化、教育等の諸分野における交流の活性化に寄与する。

DAY 1

1 歓迎レセプション（浙江青年友好代表团）

浙江省の青年をお迎えして行われた歓迎レセプション。吉林副知事をはじめ、多くの御来賓の方々に見守られ、日中両青年はホームステイに向けて友好を深めることができました。



DAY 2

2 ふじのくに茶の都ミュージアム 見学

お茶の産業・歴史・文化を紹介する展示のほか、茶道体験など、子どもから大人まで楽しくお茶について学べる博物館です。全体説明後、博物館・庭園の見学、茶道体験を行いました。また、博物館から見える富士山のある景色を楽しまれました。



日程表

月日	時間	行程	宿泊
DAY 1	10/25 (金)	14:40 富士山静岡空港 到着 19:00 歓迎レセプション	ホテルアソシア静岡
DAY 2	10/26 (土)	午前 ふじのくに茶の都ミュージアム 見学 ※	ホームステイ先
		午後 青年意見交換会 (島田市ローズアリーナにて) 【テーマ】 ① 教育×A I (I T) ×仕事 ② 貴方に薦める最高の〇〇 ③ 日本と中国のワーク・ライフ・バランスについて ④ 自国の好きなどころ、変わってほしいところ ⑤ 日中の教育と仕事 ホームステイ出発式 ホームステイ	
DAY 3	10/27 (日)	終日 ホームステイ	ホテルアソシア静岡
DAY 4	10/28 (月)	午前 常葉大学 視察 ※	
		午後 AOI-PARC 視察 ※	

※の部分については、浙江青年友好代表团のみ

3 青年意見交換会・ホームステイ出発式

意見交換会では、グループごとに「日中の教育と仕事」など事前に設定したテーマについて、お互いの国の現状を紹介し合いました。最後には、グループの代表者が話合いの内容を発表しました。その後、ホームステイのペア・グループごとに県内各地の視察に出掛けました。



DAY 3

4 ホームステイ

静岡県内をパートナーと一緒に行動することで、お互いの心の距離が縮まり、良い関係を築くことができました。また、静岡県のことを再度見つめなおす機会にもなりました。



DAY 4

5 常葉大学・AOI-PARC 視察



常葉大学

留学生をはじめとした学生の案内により、学内視察、授業見学をしました。その後行われた学生との交流では、中国語での会話がはずみ、和やかな雰囲気に包まれました。

AOI-PARC

岩城専務理事より「AOI-PARCとは」等の説明を受けた後、研究用温室を見学しました。



交流参加者の声（静岡県交流事後アンケートより）

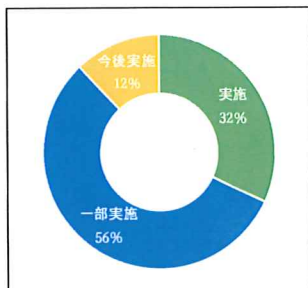
- 新たな出会いにより、友人ができました。今後も中国に渡り、交流を続けていきたいと思います。
- 静岡の良さを伝えようとする中で、今まで以上に故郷の良さ、静岡人の温かさを知ることができました。
- 文化・言語が異なる中、工夫して伝える事、コミュニケーション力が高まりました。
- 政治や文化が違ってても、一人の人間同士としては国境や違いはないと感じました。会って触れ合うことは相互理解の根幹だと思いました。
- 「中国に来た時には必ず教えてください」と何度もメッセージをいただきました。すっかり仲良くなれたことを嬉しく思います。

VI 広がる交流の輪

1 既参加者の事後活動状況

※既参加者を対象に実施した「現況調査」より（令和元年度実施）

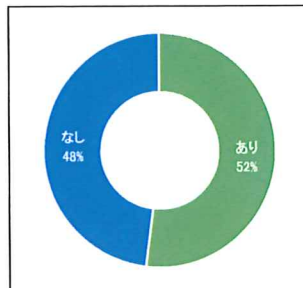
① 日中交流架け橋プランの取組



主な取組事例

- ・中国での体験を学校の授業で紹介
- ・中国語短期語学留学 など

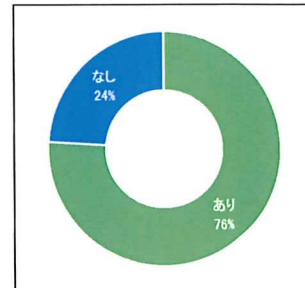
② ホームステイパートナーとの交流



主な取組事例

- ・中国に渡航し、パートナーと再会
- ・WeChat を通じて交流 など

③ 参加者同士の異業種交流



主な取組事例

- ・SNS やメール等で情報共有・交流
- ・近況報告を兼ねた食事会 など

2 既参加者の事後活動報告

私のパワースポット、杭州

藤森 希さん（ myProduct 株式会社／平成 28 年度参加 ）

大学時代から何かと中国にご縁がある私。日中青年代表交流の参加を経て、翌年に短期留学、翌々年も訪中しました。留学中は、日本が大好きな杭州の学生と友達になり、彼女が日本短期留学中、ホストファミリーとして交流しました。（そして今、彼女は関西の大学に留学中！）

数年前におじさんがトンカチを打っていた場所が巨大な地下鉄駅になっていたり、一方、早朝の公園では太極拳を打つ人やカラオケする人がいたり。参加青年の報告を聞いた時、杭州は、劇的な進化を遂げつつ、温かみもある場所だと感じます。

さて静岡は、杭州・中国の方から「また来たい」と思われる場所になっているか？それが目下の関心事です。私は今、世界から注目される「日本の手仕事」の分野で、魅力を再発掘・発信する仕事をしています。今後は、この仕事をきっかけに日中の架け橋になれるよう、精進していきたいと思っています。



友好交流は人と人の友情から

矢崎 雅人さん（ 静岡県庁地域外交課／平成 26 年度参加 ）

平成 26 年度に日中青年代表交流に参加し、ホストファミリーに温かく迎えられ、楽しい時を過ごしてから 5 年が経過し、幸いにも改めて浙江省を訪問する機会を得ました。ホストファミリーと再会を果たすとともに、中国浙江省の発展を目の当たりにしつつ、新たな友人たちと友好関係を深めています。



中国の新たな友人たちと

この事業に参加した経験を今後の業務に生かし、中国と、そして浙江省との交流を促進させたいと願いつつ、帰国後は取り組んできました。その中で思うことは、双方の友情というのは、まずは人と人が実際に会い、お互いを知り、理解を深めていくからこそ成り立つのだということです。頭の中や周りの情報だけでなく、自らの目で見て、肌で感じ、積極的に浙江省の方々との友情を今後も広げていきたいとより一層強く感じるようになりました。より多くの方に、この事業を通じて新たな友情の芽を育みながら、生活・文化・経済など、様々な違いを感じ取り、理解を深めてもらいたいと思います。

VII 日中交流架け橋プラン — 終わりではなく、始まり —

グループ 1

金子 真也	<ul style="list-style-type: none">・短期／生徒に集会やクラス通信などで自分が感じたことを伝えていく。・長期／中国で知り合った方と連絡を取り合い、もう一度再会を果たす。
神谷 摩耶	<ul style="list-style-type: none">・外の視点以上に内の視点を意識する（＝彼を知り己を知る）ことが大切。・彼と己を知って、恐れずにコミュニケーション（＝戦）をとる。
河村 智可	とにかく繋がっている <ul style="list-style-type: none">・WeChat でいつでも連絡ができるようにしておこうと思います。・情報交換をしながらお互いの国のことをもっと分かり合えるようにしていきたいと思います。・お互いの国を行き来し、この出逢いを大切に、これからの人生、楽しく豊かに送っていききたいと思います。
齋藤 和法	<ul style="list-style-type: none">・観光課等へ赴任した場合は、海外へ発信し、アピールをしていくことの大切さを考えた活動に取り組んでいけたら良いと思います。・実体験を友人など周りにも伝えていき、中国のイメージアップを図れたらよいと思います。
杉山 詩織	英語教員という立場から、「自分の目で見て、自分で関わり、相手のことを知ろうとする姿勢」が異文化理解・交流では大切だということを、実体験を通して生徒に伝えていきたい。

グループ 2

伊藤夏生ナタリア	<ul style="list-style-type: none">・中国（世界）を知る。・日本（静岡）を知る。・言語（コミュニケーション）を学ぶ。
鈴木 未佳	<ul style="list-style-type: none">・職場である教育現場を始めとして、小さなことでも驚いた中国の魅力をいろいろな場所で伝えていく。・中国人だけでなく、日本を知りたいと考える外国人を積極的に受け入れ、日本の魅力を伝えていく。
林 千尋	本校には、杭州の緑城育華学校の生徒が一年に一度、春に来訪する。その機会を利用して、生徒の中国に対する関心を高め、日中友好について学習し、交流の意義に気付かせたい。
森 大介	<ul style="list-style-type: none">・短期／ダメなことにも目を向けるのではなく、つながる・つなげることに目を向ける。・長期／未来を担う世代の相互理解こそが、人類や世界が抱える課題を克服することに繋がると信念を持って教職に就いている。社会科や教育活動を通して、実体験に基づく異文化紹介を継続し、ライフワークにする。
山本 隼人	日本人の中にはニュースやインターネット等で中国に対して良くないイメージを持つ人も少なくない。確かにそれも中国の一面だが、それだけではないという事を伝えていきたい。

グループ 3

伊藤 清久	<ul style="list-style-type: none">・本県にとって重要になるであろうグローバル人材の育成。国際交流に貢献する。・教員としての深化・熟練期を活躍したい。・今後も本交流に積極的に関わっていく。・本交流で知り合った仲間たちとの交流を深める。・中国人パートナーと連絡を取り合う。・杭州、上海を再訪する。
片井 拓実	<ul style="list-style-type: none">・中国という国に興味を持ってもらう。また、ネガティブな印象を無くしていきたい。・語学力の更なる向上（単語力を増やす）。・自分自身が静岡市により興味を持ち、中国人に知ってもらうよう、発信していく。・静岡に在住の中国語圏の方々との交流事業に参加する。・中国語ボランティアに積極的に参加する。

小見山 祥紀

- ・浙江省交流、静岡県交流で出会った方々と WeChat 等で今後も連絡を取り続け、交流を継続していく。
- ・自分で見て感じた中国を周囲の人に伝えていく。
- ・中国語の勉強を続けること、中国の歴史、経済、文化について学び、中国の方とコミュニケーションをとれるようにする。

野海 恵理子

- ・中国研修の内容を周りの人や生徒に伝える。
- ・パートナーや出会った人と交流を続ける。
- ・学校（特殊学校）間交流。

檜林 美雪

大好きな観光の分野と以前から関心がある日本で働かれている中国の方々の生活の2つの点で自分にご協力出来る事がないか、ゆっくり探して行きたいと思います。そのためには、まずコミュニケーションが取れる位の語学力の習得が必須なので、英会話と中国の勉強を頑張ります！

藤山 琴美

- ・中国の教育や文化について知ることが出来た経験を、日本で紹介する。
- ・日本でできることを考えたり、日本人が疑問に感じていることを中国の方に聞いて解消したりする中で、交流を深めていきたい。

グループ 4

池田 紀子

教師である私は、教育活動の中で中国の話題が出てくるときがあると思う。中国の国籍をもつ児童を受け持つこともあると思う。そんなとき、中国のよさを具体的に話し、伝えていきたい。それが、将来中国や中国の方と友好的に関わる人を育成することにつながると思う。

伊藤 裕太

- ・交流事業を通じて学んだことや感じたことを周りにいる人たちに伝え、多くの人に中国のこと、中国の人たちの温かみを知ってもらい、中国に対するネガティブなイメージを変えるきっかけを作って行きたいです。
- ・今回出会ったパートナーの郭さん、静岡県青年と連絡をとり、結んだ縁を切らないように交流を続けていきたいです。

太田 理央

- ・周りの人たちに中国の良さを伝えます。
- ・中国語の勉強を続けます。

柏木 仁司

茶を通じて建設的な交流ができると確信しています。その昔、中国からもたらされた茶が日本ではどのようにして栽培され製茶され消費されているか、そういった情報を中国に向けて積極的に発信していき、双方の茶業の発展につながればと思います。

桑原 晶子

本交流において出会えたパートナーとの縁を大切に、今後も関係を持続させていきたいと思っています。また、日本人の多くは実際の中国の姿を正しく理解していないと感じます。この経験を周囲に伝えることで、今までの中国の印象を変えるきっかけを作り、中国のファン、中国に関心を持つ人を増やしていきたいです。

グループ 5

大石 哲久

- ・中国のイメージががらりと変わりました。子どもたちにイメージではなく、中国の事実を伝えていきます。
- ・日本は古来より中国から学び、独自の発展を遂げてきました。中国の発展に真摯に学び、教師としてできることを考え、行動していきます。

大橋 奈美

- ・自分が本交流を通じて学んだこと、感じたことを周囲に伝える。
- ・本交流に関わりを持った中国人と WeChat 等で交流を維持する。

村瀬 千夏

- ・教材研究も兼ねて再度中国を訪れ、西湖以外にも足を伸ばしたいとも考えている。
- ・生徒や同僚に今回の交流のことを折に触れて話し、中国や本交流に興味を持つ者を増やしたい。

森田 秀平

- ・中国の勉強（2021年3月までにHSK 6級を取得する）
- ・個人と国を分けて考える。

渡邊 顕吾

- ・中国で目にした機械化・情報化のアイデアを還元するため、所属先での機械化のプロジェクトに積極的に関与していきたいです。
- ・中国側青年とはもちろん、日本側青年とも引き続き交流を続けていきたいです。

VIII 令和元年度 関係者名簿

1 静岡県参加青年

(以下敬称略、役割/◎ 班長、○副班長)

番号	交流班	役割	氏名	性別	所属先(申込時)
1	1班	◎	金子 真也	男	静岡県立島田工業高等学校
2			神谷 摩耶	女	鈴木株式会社
3			河村 智可	女	静岡県立藤枝特別支援学校
4			齋藤 和法	男	島田市役所
5		○	杉山 詩織	女	静岡県立浜松湖南高等学校
6	2班		伊藤 夏生 ナタリア	女	静岡県立榛原高等学校
7			鈴木 未佳	女	焼津市立小川中学校
8		◎	林 千尋	女	静岡学園 中学校・高等学校
9			森 大介	男	長泉町立長泉中学校
10		○	山本 隼人	男	株式会社サンワネット
11	3班	○	伊藤 清久	男	静岡県立御殿場高等学校
12			片井 拓実	男	清和海運株式会社
13			小見山 祥紀	男	小山町役場
14			野海 恵理子	女	静岡大学教育学部附属特別支援学校
15			檜林 美雪	女	株式会社エスエーエス
16		◎	藤山 琴美	女	浜松市立初生小学校
17	4班		池田 紀子	女	掛川市立城北小学校
18		◎	伊藤 裕太	男	静岡県農業協同組合中央会
19			太田 理央	女	静岡市立南中学校
20		○	柏木 仁司	男	荻原製茶
21			桑原 晶子	女	静岡県信用保証協会
22	5班	◎	大石 哲久	男	袋井市立浅羽南小学校
23			大橋 奈美	女	静岡ガス株式会社
24		○	村瀬 千夏	女	静岡県立浜松大平台高等学校
25			森田 秀平	男	静岡県農林技術研究所 茶業研究センター
26			渡邊 顕吾	男	株式会社天野回漕店

2 実行委員会

役職	氏名	所属等(事業実施時)
会長(静岡県青年交流代表団団長)	栗原 績	静岡県日中友好協議会 理事長
副会長(静岡県青年交流代表団副団長)	山下 英作	静岡県教育委員会 社会教育課長
委員	池谷 遥奈	平成30年度参加者代表
	影島英一郎	静岡県地域外交局地域外交課長
	上村 皐月	平成30年度参加者代表
	篠宮 晋士	静岡県立富士高等学校 校長
	萩原 弘悦	掛川商工会議所 専務理事
	望月 菜摘	平成30年度参加者代表
	山本 正博	一般社団法人静岡青年会議所 副理事長
監事	鈴木紀美代	元静岡県健康福祉部 理事
	田中 雅代	元静岡県立静岡視覚特別支援学校 主任

3 浙江省参加青年

番号	浙江省交流			静岡県交流		
	氏名	性別	所属等	氏名	性別	所属等
1	朱 剑	男	浙江省青年联合会	陈冀锐	男	浙江企家信息科技有限公司
2	梁颖睿	女	凤凰周刊浙江区	符 求	女	台州市黄岩区青年联合会
3	李 稹	女	杭报集团（华媒控股）董事会			
4	朱 娜	女	浙一党建办公室	张云新	男	浙江省信访局办公室
5	蒋 成	男	浙江省青年联合会	陈利少	女	平阳县青年联合会
6	傅文军	男	浙江省发展改革委财政金融处	陈 涛	男	舟山市青年联合会
7	王辉球	男	浙江省青年联合会	田 臻	女	杭州市学生联合会
8	王辉球	男	浙江省青年联合会	何瑛菲	女	金华市青年作家协会
9	袁吉峰	男	浙江凯氏儿童用品科技有限公司	黄加宁	男	北京德恒（杭州）律师事务所合伙人
10	缪朝红	男	杭州萧山北干现代乐器有限公司			
11	唐 冲	男	浙江中医药大学	唐 冲	男	浙江中医药大学
12	朱慧琴	女	浙江省青年联合会	杨 帅	男	浙江省海港投资运营集团有限公司
13	郭 彧	男	浙江省团校	赵科伟	男	宁波市青年联合会
14	王辉球	男	浙江省青年联合会	沈建兰	女	湖州市青年联合会
15	蒋 成	男	浙江省青年联合会			
16	包灵灵	女	浙江省农业科学院幼儿园	施蕴函	女	浙江省机电集团有限公司
17	朱 剑	男	浙江省青年联合会	裘张洁	女	嵊州市青年联合会
18	郭 彧	男	浙江省团校	郭 彧	男	浙江省团校
19	王辉球	男	浙江省青年联合会	沈沁予	女	嘉兴市青少年宫艺术部
20	何林海	男	杭州良渚麟海蔬果专业合作社			
21	朱诗琪	女	浙江教育报刊总社	王凌晶	女	浙江出版联合集团办公室
22	朱 娜	女	浙一党建办公室	张伟松	男	杭州市团校杭州青运史馆部
23	朱 剑	男	浙江省青年联合会	胡 斌	男	青年时报社
24	沈佳俐	女	杭州市第一人民医院	吕媛媛	女	浙江理工大学
25	童志怡	男	浙江省地震局	曹 剑	男	浙江省委办公厅人事处
26	骆 凌	男	浙江省公安厅机场公安局航站楼派出所	蔡 华	男	杭州传送门网络科技有限公司
				邹 华	男	华临绿建科技股份有限公司
				阮圣健	男	浙江省统计局

※本表と前ページ「1 静岡県参加青年」の同番号の青年同士がペアを組みホームステイを実施

※浙江省交流では、台風9号の影響により、杭州市以外のホームステイ先への移動が困難になったため、杭州市内のホームステイ先に複数人数を受け入れていただいた。

4 中国浙江省青年連合会役員

役 職	氏 名
主席（浙江青年友好代表团团长）	王慧琳
秘書長	朱慧琴
副秘書長	景丽敏
副秘書長	蒋 成
副秘書長（浙江青年友好代表团秘書長）	杨 楠

5 その他 浙江省関係者

役 職	氏 名
中国浙江工商大学团委書記 （浙江青年友好代表团副团长）	何 波



日中青年代表交流

令和2年3月

編集発行 / 日中青年代表交流実行委員会
静岡県教育委員会社会教育課

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号
電話 054 - 221 - 3305・3312
E-mail kyoui_shakyo@pref.shizuoka.lg.jp

表紙デザイン / 静岡県立駿河総合高等学校 生徒作品